

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月6日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 弘行
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	11,792	△7.6	489	△17.6	468	△15.5	305	△16.5
2020年3月期第2四半期	12,766	△2.2	593	△7.2	554	△20.1	365	△24.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 367百万円(21.0%) 2020年3月期第2四半期 303百万円(△43.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.26	—
2020年3月期第2四半期	13.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	25,369	9,144	36.0
2020年3月期	24,530	8,903	36.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 9,144百万円 2020年3月期 8,903百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△2.6	850	△20.6	890	△22.7	620	△20.2	22.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	35,000,000株	2020年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	7,845,675株	2020年3月期	7,890,655株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	27,120,159株	2020年3月期2Q	27,109,348株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、個人消費や企業活動が制限され、また東京オリンピックの延期や各種イベント等の中止を余儀なくされるなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。政府による緊急事態宣言の解除後は、段階的な経済活動の再開はされているものの、個人消費は低迷を続け、国際的なヒトやモノの移動等の制限も長期化していることから、その回復に向けた動きは鈍く、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社及び当社グループはお客様、従業員およびその家族、地域社会、関係取引先の安全と健康を確保することを最優先に、感染防止策を徹底することで、持続可能な生産・供給体制の維持に努めております。

生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材を含め、非常時においても安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、砂糖事業及びバイオ事業の計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）において10.39セントで始まり、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大が同相場へも影響し、4月下旬に2007年以来の安値となる9.05セントを付けました。その後、各国の景気刺激策への期待感から商品相場に投機資金が流入し、8月中旬には高値13.28セントを付けました。高値を付けた後も中国等主要砂糖輸入国の底堅い需要が確認されたことから13.07セントで当第2四半期連結累計期間を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白糖大袋1kg当たり）は、期初187円～188円で始まり、同水準のまま当第2四半期連結累計期間を終了しました。

精糖及びその他糖類などの国内販売は、家庭用製品は7月以降いわゆる巣ごもり需要も一服したことから、低調に推移しました。業務用製品についても外出を控えるライフスタイルへの変化、渡航制限による訪日外国人観光客の減少も相まって、特に外食産業や土産品等向けの販売が低調に推移、売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、砂糖事業全体の売上高は10,825百万円（前年同四半期比8.5%減）、セグメント利益は873百万円（前年同四半期比12.7%減）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖部門は、コロナ禍において、整腸素材が消費者の皆様の注目を集め、腸内環境の改善が免疫力の維持サポートにもつながることが再認識されている中、特定保健用食品「オリゴのおかげ」の拡販に向け、各種広告や主要量販店における販促導入等の施策を展開しました。この結果、同製品はレギュラータイプのみならず、ダブルサポートタイプの販売についても好調に推移し、売上高は前年同四半期を上回りました。

サイクロデキストリン部門は、健康食品関連会社向けへの販売が好調に推移したものの、末端ユーザー製品の終売やレシピ変更等による使用量減、また外食業務用ユーザー向けの販売も低調に推移したことから、売上高は前年同四半期を下回りました。

以上の結果、バイオ事業全体の売上高は941百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は202百万円（前年同四半期比15.4%増）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は67百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は31百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,792百万円（前年同四半期比7.6%減）、営業利益は489百万円（前年同四半期比17.6%減）、経常利益は468百万円（前年同四半期比15.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は305百万円（前年同四半期比16.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて1,099百万円増加し、8,464百万円となりました。これは主に、現金及び預金が638百万円、原材料及び貯蔵品が499百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて260百万円減少し、16,904百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が110百万円減少、機械装置及び運搬具が135百万円減少、繰延税金資産が64百万円減少した一方で、建設仮勘定が29百万円増加、投資有価証券が38百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて838百万円増加し、25,369百万円となりました。

②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて596百万円増加し、16,224百万円となりました。これは主に、短期借入金が1,650百万円増加した一方で、長期借入金が860百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて241百万円増加し、9,144百万円となりました。これは主に、利益剰余金が169百万円増加、その他有価証券評価差額金が72百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて638百万円増加し、3,343百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、196百万円(前年同四半期は276百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益466百万円、減価償却費337百万円等による資金の増加があった一方で、法人税等の支払額148百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、347百万円(前年同四半期は307百万円の資金支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出366百万円、無形固定資産の取得による支出1百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、790百万円(前年同四半期は352百万円の資金支出)となりました。

これは、配当金の支払135百万円、借入金の純増加額926百万円による資金の増加があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症の影響は、国内の緊急事態宣言は解除されたものの、感染再拡大が懸念されるほか、世界的にも依然感染拡大傾向にあり、予断を許さない状況が続くものと予想されます。2020年5月11日付け公表の2021年3月期連結業績予想につきましては、当該感染拡大による業績影響を加味して作成しており、現時点においては、当該業績予想を変更するまでには至っていないと判断しております。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況等により事業環境が変化し、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,705	3,343
受取手形及び売掛金	1,602	1,428
商品及び製品	1,007	1,192
仕掛品	245	140
原材料及び貯蔵品	668	1,168
その他	1,135	1,190
流動資産合計	7,365	8,464
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,119	10,134
減価償却累計額	△6,928	△7,054
建物及び構築物(純額)	3,191	3,080
機械装置及び運搬具	11,794	11,814
減価償却累計額	△9,789	△9,945
機械装置及び運搬具(純額)	2,005	1,869
工具、器具及び備品	434	415
減価償却累計額	△363	△353
工具、器具及び備品(純額)	70	61
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	17	46
有形固定資産合計	10,519	10,293
無形固定資産		
ソフトウェア	94	77
その他	6	6
無形固定資産合計	100	83
投資その他の資産		
投資有価証券	4,121	4,159
長期貸付金	1,306	1,326
繰延税金資産	1,007	942
その他	109	99
投資その他の資産合計	6,544	6,528
固定資産合計	17,165	16,904
資産合計	24,530	25,369

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	456	821
短期借入金	4,700	6,350
1年内返済予定の長期借入金	1,584	1,720
未払法人税等	158	135
未払消費税等	79	93
賞与引当金	77	73
その他	1,329	768
流動負債合計	8,385	9,962
固定負債		
長期借入金	6,356	5,496
退職給付に係る負債	578	519
繰延税金負債	0	—
その他	306	246
固定負債合計	7,241	6,261
負債合計	15,627	16,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	233
利益剰余金	11,005	11,175
自己株式	△3,021	△3,004
株主資本合計	9,975	10,154
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,061	△989
繰延ヘッジ損益	0	△5
退職給付に係る調整累計額	△11	△15
その他の包括利益累計額合計	△1,072	△1,010
純資産合計	8,903	9,144
負債純資産合計	24,530	25,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	12,766	11,792
売上原価	10,179	9,436
売上総利益	2,586	2,355
販売費及び一般管理費	1,993	1,865
営業利益	593	489
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	59	60
その他	5	3
営業外収益合計	77	76
営業外費用		
支払利息	40	44
持分法による投資損失	57	45
支払手数料	12	4
その他	5	2
営業外費用合計	116	96
経常利益	554	468
特別損失		
固定資産売却損	—	2
特別損失合計	—	2
税金等調整前四半期純利益	554	466
法人税、住民税及び事業税	169	126
法人税等調整額	20	34
法人税等合計	189	161
四半期純利益	365	305
親会社株主に帰属する四半期純利益	365	305

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	365	305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56	73
繰延ヘッジ損益	3	△5
退職給付に係る調整額	△6	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△2
その他の包括利益合計	△61	62
四半期包括利益	303	367
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	303	367

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	554	466
減価償却費	335	337
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△60	△64
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2	△3
受取利息及び受取配当金	△72	△73
支払利息	40	44
為替差損益 (△は益)	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	57	45
売上債権の増減額 (△は増加)	418	173
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△44	△579
仕入債務の増減額 (△は減少)	△558	364
その他	△191	△400
小計	481	310
利息及び配当金の受取額	73	73
利息の支払額	△41	△44
法人税等の支払額	△237	△148
法人税等の還付額	—	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	276	196
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△269	△366
無形固定資産の取得による支出	△16	△1
貸付けによる支出	△480	△430
貸付金の回収による収入	458	449
その他	△0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307	△347
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,900	1,650
長期借入れによる収入	2,450	—
長期借入金の返済による支出	△740	△724
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△162	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△352	790
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△385	638
現金及び現金同等物の期首残高	1,667	2,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,281	3,343

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,825	883	56	12,766	—	12,766
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	24	10	44	△44	—
計	11,834	908	67	12,810	△44	12,766
セグメント利益	999	175	31	1,207	△614	593

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,819	915	57	11,792	—	11,792
セグメント間の内部売上高又は振替高	5	26	10	43	△43	—
計	10,825	941	67	11,835	△43	11,792
セグメント利益	873	202	31	1,107	△618	489

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。